

## 東京2020パラリンピック水泳競技出場資格規定

2020年4月

## メダル対象種目

男子	女子	混合	合計
76	67	3	146

メダル対象種目の詳細およびMQS/METリストは本章の末尾に記載

## 選手出場枠

男子	女子	合計
340	280	620

## 出場枠の割当

出場枠は各NPCに割り当てられるものであり、選手個人に割り当てられるものではない。ただし、バイパルタイト委員会招待枠に関しては、枠はNPCに対してではなく選手個人に割り当てられる。

プログラムにある全メダル対象種目を東京2020パラリンピック競技大会で実施すべく、世界パラ水泳連盟(WPS)は特定の競技クラスのアスリート(特に高いサポートを要するアスリートクラス)に特化した出場枠を割り当てる権限を有する。出場枠は割り当て通りに使用するものとし、使用しない場合、NPCはWPSに返還しなくてはならない。

**\* 日本への配分 男子14(世界選手権枠5、MQS枠9)、女子13(MQS枠) 計27**

## 各NPCの最大出場選手枠

出場枠数は各NPCに対し、男子は34枠まで、女子は28枠まで、合計で最大62枠の出場枠が分配される。例外として、バイパルタイト委員会招待枠分配方法が適用される場合もある。

## 選手の出場資格

各NPCによる出場資格を得るためには、選手は以下の要件を満たしていなくてはならない:

- 2021年シーズンに有効なWPSアスリートライセンスを保持していること。
- 2018年10月1日から2021年8月1日の間に、対象の種目において、WPS公認の50m(長水路)競技大会(WPS公式競技大会、WPS公認競技大会、WPS承認競技大会)でMQS(参加標準記録)を突破していること
- 2018-2021シーズン中に有効なアスリート・ライセンス・プログラムポリシーに従って、MQSを突破

していること;

- 国際クラス分けを受けており、ステイタスがConfirmed、またはReviewで再評価の日付が2021年12月31日以降であること。
  - 2021年6月30日以前に国際クラス分けを受けていること。
  - 2018年10月1日から2021年のWPSワールドシリーズ最終大会(即ち2021年6月30日)終了時までの間に、以下の大会のうち少なくとも1大会に出場していること:
    - WPSワールドシリーズ、
    - WPS世界選手権大会、
    - WPS地域選手権大会または地域オープン選手権大会、
    - 2019年パラパンアメリカン大会
- 例外として、バイパルタイト委員会招待枠分配方法が適用される場合もある。

## 各NPCの最大エントリー数

NPCは、メダル対象種目1種目につき出場資格をもつ選手を最大3名までエントリーすることができる。

NPCは、選手が参加標準記録(MQS)をひとつでもクリアしていれば、種目エントリー標準記録(MET)を突破している種目に、メダル対象種目の数に制限なくエントリーすることができる。

NPCは、各リレー種目にMQSを満たしていれば最大1チームまでエントリーすることができる。リレーチームの選手に選出されるためには、いずれの選手も少なくとも1種目で個人種目の出場資格を満たしていなくてはならない。

## 出場枠の決定方式

出場選手枠は以下のように分配される:

方式	資格	合計出場枠
2019世界選手権割当枠	<p>2019年WPS世界選手権大会において、東京2020パラリンピック競技大会で実施されるメダル対象個人種目の各種目上位2名の選手の各NPCにそれぞれ1枠与えられる。同じ選手が複数種目で1位または2位であっても、そのNPCに与えられる出場枠は1枠のみとする。</p> <p>この方法で分配される枠が予定していた枠数に満たない場合、WPSは残りの枠をMQS割り当て方法にて割り振る。</p>	男子148 枠 女子130 枠

<p><b>MQS割当枠</b></p>	<p>2018年10月1日から2020年1月31日までの間に、WPS公認大会でMQSを突破しているものの、2019年世界選手権大会でNPCの直接出場枠を獲得できなかった選手は、NPCのMQS割当枠の対象となる。</p> <p>選手が複数種目でMQSを達成している場合でも、NPCは選手1名につき1枠しか割り当てられない。</p> <p>この方法にて、利用可能な枠の総数よりも多くの選手がMQSを突破した場合、出場枠は以下の方法で割り当てられる。 2020年1月31日終了時点でのWPS世界ランキングリスト上のメダルイベントである個人種目におけるその選手の最高ランキングが、各NPCに割り当てられる最終出場枠数を決定するのに(加重)考慮される。 ランキング1位から8位=1 ランキング9位から12位=0.8 ランキング13位から16位=0.6 ランキング16位より下=0.5</p> <p><b>男子:</b></p> <p><math>A \times (B \div C) = \text{NPC割当数}</math></p> <p><b>A:</b> NPCにおいて、世界選手権にて枠を獲得していないがMQS(ランキングの比重に基づき)を突破している男子選手総数</p> <p><b>B:</b> 利用可能な男子枠総数</p> <p><b>C:</b> 世界選手権にて枠を獲得していないがMQS(ランキングの比重に基づき)を突破している男子選手総数</p>	<p>男子187 枠 女子145 枠</p>
----------------------	--	----------------------------

	<p><b>女子:</b></p> <p><math>D \times (E \div F) = \text{NPC割当数}</math></p> <p>D: NPCにおいて、世界選手権にて枠を獲得していないがMQS(ランキングの比重に基づき)を突破している女子選手総数  E: 利用可能な女子枠総数  F: 世界選手権にて枠を獲得していないがMQS(ランキングの比重に基づき)を突破している男子選手総数</p> <p>WPSは、男子女子それぞれの参加枠の必要割当数を達成するために、切り上げまたは切り捨てする権利を有する。</p> <p>この方法に基づき分配されなかった出場枠は、バイパルタイト委員会招待枠の割当方式にて割り振られる。</p>	
<p><b>バイパルタイト委員会招待枠</b></p>	<p>出場資格を持つ男子5名、女子5名の選手が、IPCおよびWPSにより、バイパルタイト委員会招待枠の対象となる。</p> <p>委員会招待枠の対象となるには、NPCは2021年4月15日までに、世界パラ水泳宛に書面で、所定の申請書を提出しなければならない。</p>	<p>男子5枠 女子5枠</p>
<p><b>合計</b></p>		<p>男子340枠 女子280枠</p>

## スケジュール

2018年10月1日	選手のMQS達成期間の開始
2018年11月1日	WPSより、東京2020メダル対象種目プログラムのMQSおよびMETレベルの発表
2019年9月9日－9月15日	2019年WPS世界選手権大会(イギリス・ロンドン)
2019年9月27日	WPSより各NPCに対し、2019年世界選手権大会で獲得した直接選出枠の配分を書面にて確認通知
2019年10月10日	各NPCよりWPSに、分配された直接選出枠の使用を書面にて確認通知
2020年1月31日	MQS出場枠配分方法により出場枠配分を計算するにあたり、WPSの検討対象となるMQSの達成期間の終了
2020年2月15日	バイパルタイト委員会の招待枠の選考開始
2020年2月15日	WPSより各NPCに対し、MQS配分方法による出場枠配分を書面にて通知
2020年3月1日	各NPCよりWPSに対し、分配された出場枠使用の確認を書面にて通知
2021年3月1日	各NPCよりWPSに対し、確認済出場枠のうち返却する枠があればその旨を書面にて通知
2021年4月15日	各NPCより、バイパルタイト委員会招待枠への申請書提出
2021年6月30日	WPSより、バイパルタイト委員会招待枠賦与を書面にて確認通知
2021年6月30日	WPSより、未使用の出場枠の再配分を書面にて通知
2021年5月14日	各NPCより東京2020大会組織委員会へ、ア kredィテーション申請書の提出・受理期日(ア kredィテーションリスト)
2021年8月1日	各NPCが代表選手を選考する際の出場要件となるMQSの達成期間終了
2021年8月2日	各NPCより東京2020大会組織委員会へ競技エントリー申請書の提出受理期日

## 割当出場資格枠の使用確認通知の手順

2019年世界選手権大会およびMQS枠割当方法で割り当てられた出場資格枠の使用を希望する場合、その枠を獲得した各NPCは規定に定められた期日までに、WPS宛に書面で(Fax およびeメールでも可)確認通知をしなければならない。NPCがこの期日までにWPSに連絡しなかった場合、NPCはその出場資格枠を失い、WPSはその枠を他へ再配分することがある。

WPSは2021年6月30日までに未使用出場枠全てを再配分する旨の確認通知を書面で行う。

2021年6月30日までに、NPCはそれぞれに割り当てられた東京2020パラリンピック競技大会出場資格枠を使用することを正式に表明する。その後NPCがその割当枠を使用しない場合は、WPSおよびIPCの制裁を課せられる場合がある。

## 未使用枠の再配分

各国NPCに分配されたものの使用されなかった出場枠は、バイパルタイト委員会の招待枠 分配方法にしたがって再分配される。

実施予定メダル対象種目

水泳		
男子種目 (76)	女子種目 (67)	混合種目 (3)
50m 自由形 S3	50m 自由形 S4	4x50m 自由形 20 points
50m 自由形 S4	50m 自由形 S6	4x100m 自由形 S14**
50m 自由形 S5	50m 自由形 S8	4x100m 自由形 VI**
50m 自由形 S7	50m 自由形 S10	
50m 自由形 S9	50m 自由形 S11	
50m 自由形 S10	50m 自由形 S13	
50m 自由形 S11	100m 自由形 S3	
50m 自由形 S13	100m 自由形 S5	
100m 自由形 S4	100m 自由形 S7	
100m 自由形 S5	100m 自由形 S9	
100m 自由形 S6	100m 自由形 S10	
100m 自由形 S8	100m 自由形 S11	
100m 自由形 S10	100n 自由形 S12	
100m 自由形 S12	200m 自由形 S5	
200m 自由形 S2	200m 自由形 S14	
200m 自由形 S3	400m 自由形 S6	
200m 自由形 S4	400m 自由形 S7	
200m 自由形 S5	400m 自由形 S8	
200m 自由形 S14	400m 自由形 S9	
400m 自由形 S6	400m 自由形 S10	
400m 自由形 S7	400m 自由形 S11	
400m 自由形 S8	400m 自由形 S13	
400m 自由形 S9	50m 背泳ぎ S2	
400m 自由形 S10	50m 背泳ぎ S3	
400m 自由形 S11	50m 背泳ぎ S4	
400m 自由形 S13	50m 背泳ぎ S5	
50m 背泳ぎ S1	100m 背泳ぎ S2	
50m 背泳ぎ S2	100m 背泳ぎ S6	
50m 背泳ぎ S3	100m 背泳ぎ S7	
50m 背泳ぎ S4	100m 背泳ぎ S8	
50m 背泳ぎ S5	100m 背泳ぎ S9	

100m 背泳ぎ S1	100m 背泳ぎ S10	
100m 背泳ぎ S2	100m 背泳ぎ S11	
100m 背泳ぎ S6	100m 背泳ぎ S12	
100m 背泳ぎ S7	100m 背泳ぎ S13	
100m 背泳ぎ S8	100m 背泳ぎ S14	
100m 背泳ぎ S9	50m 平泳ぎ SB3	
100m 背泳ぎ S10	100m 平泳ぎ SB4	
100m 背泳ぎ S11	100m 平泳ぎ SB5	
100m 背泳ぎ S12	100m 平泳ぎ SB6	
100m 背泳ぎ S13	100m 平泳ぎ SB7	
100m 背泳ぎ S14	100m 平泳ぎ SB8	
50m 平泳ぎ SB2	100m 平泳ぎ SB9	
50m 平泳ぎ SB3	100m 平泳ぎ SB11	
100m 平泳ぎ SB4	100m 平泳ぎ SB12	
100m 平泳ぎ SB5	100m 平泳ぎ SB13	
100m 平泳ぎ SB6	100m 平泳ぎ SB14	
100m 平泳ぎ SB7	50m バタフライ S5	
100m 平泳ぎ SB8	50m バタフライ S6	
100m 平泳ぎ SB9	50m バタフライ S7	
100m 平泳ぎ SB11	100m バタフライ S8	
100m 平泳ぎ SB12	100m バタフライ S9	
100m 平泳ぎ SB13	100m バタフライ S10	



100m 平泳ぎ SB14	100m バタフライ S13	
50m バタフライ S5	100m バタフライ S14	
50m バタフライ S6	150m 個人メドレー SM4	
50m バタフライ S7	200m 個人メドレー SM5	
100m バタフライ S8	200m 個人メドレー SM6	
100m バタフライ S9	200m 個人メドレー SM7	
100m バタフライ S10	200m 個人メドレー SM8	
100m バタフライ S11	200m 個人メドレー SM9	
100m バタフライ S12	200m 個人メドレー SM10	
100m バタフライ S13	200m 個人メドレー SM11	
100m バタフライ S14	200m 個人メドレー SM13	
150m 個人メドレー SM3	200m 個人メドレー SM14	
150m 個人メドレー SM4	4x100m 自由形 34 Points	
200m 個人メドレー SM6	4x100m Medley 34 Points	
200m 個人メドレー SM7		
200m 個人メドレー SM8		
200m 個人メドレー SM9		
200m 個人メドレー SM10		
200m 個人メドレー SM11		
200m 個人メドレー SM13		
200m 個人メドレー SM14		
4x100m 自由形 34 Points		
4x100m Medley 34 Points		
**暫定。2019年世界選手権大会でのリレー種目の実施要件は、東京2020での実施状況に応じて決定する。		